

2013 年度以降入学生	情報リテラシー実践Ⅰ	科目種別	基礎科目群	単位数	2	特別申請科目	
2012 年度以前入学生	情報リテラシー実践Ⅰ	科目種別	基礎教育科目	単位数	2	特別申請科目	
担当教員	時間割参照	前期	月～金曜日	2・3・5時限			
①授業方針・テーマ	①ICT(Information and Communication Technology)の使い方に習熟すると共に、それを活用し具体的な課題解決を行う。						
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	②情報の収集、分析、判断、編集、発信、共有などの情報処理に関わる能力の向上。情報機器の使い方と、それによる具体的な課題解決能力の向上。						
③授業計画・内容	<p>③</p> <p>【基本】(4回程度)</p> <p>1. 情報倫理講習, ログオン, 授業ガイダンス, 教育システムの紹介, レディネス調査</p> <p>2. ファイル・フォルダの管理, 電子メール送受信</p> <p>3. コンピュータやネットワークの仕組み, 情報検索(WWW, 図書館情報など)</p> <p>4. 情報倫理</p> <p>【標準】(4回～6回程度)</p> <p>5. ワードプロセッサによる文書編集1</p> <p>6. ワードプロセッサによる文書編集2</p> <p>7. 表計算ソフトによるデータ処理1</p> <p>8. 表計算ソフトによるデータ処理2</p> <p>9. 表計算ソフトによるデータ処理3</p> <p>10. 課題作成等</p> <p>【発展】(4回～5回程度)</p> <p>11. プレゼンテーション or 簡単なプログラミング</p> <p>12. プレゼンテーション or 簡単なプログラミング</p> <p>13. 動画編集1 or HTML1</p> <p>14. 動画編集2 or HTML2</p> <p>15. 課題作成やまとめ</p> <p>【標準】及び【発展】部分の学習内容は、各学部学系により異なる場合がある。</p> <p>【授業外学習】eラーニングシステム上のコースウェアなどを使って、予習や復習を十分行うこと。</p>						
④テキスト・参考書等	④eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。クラスによっては別に指示する場合がある。						
⑤成績評価方法	⑤以下の項目に基づき総合的に判定する(担当教員により若干異なることがある)						
	・四回以上の欠席は原則として不合格とする						
	・最初の基本部分の課題, 及び標準部分の課題, 発展部分の課題や発表の評価						
	・情リテ情報倫理テストの結果						
⑥特記事項	⑥初回の授業の「情報倫理講習」を受講しない場合は、その後の授業を原則として受講できなくなるので注意する事。関連する授業として後期に、データ処理を扱う情報リテラシー実践ⅡA, プログラミングを扱う情報リテラシー実践ⅡB, また、画像と音を扱う情報リテラシー実践ⅡCを提供している。						
	【オフィスアワー】方法などについて授業等で連絡する。						